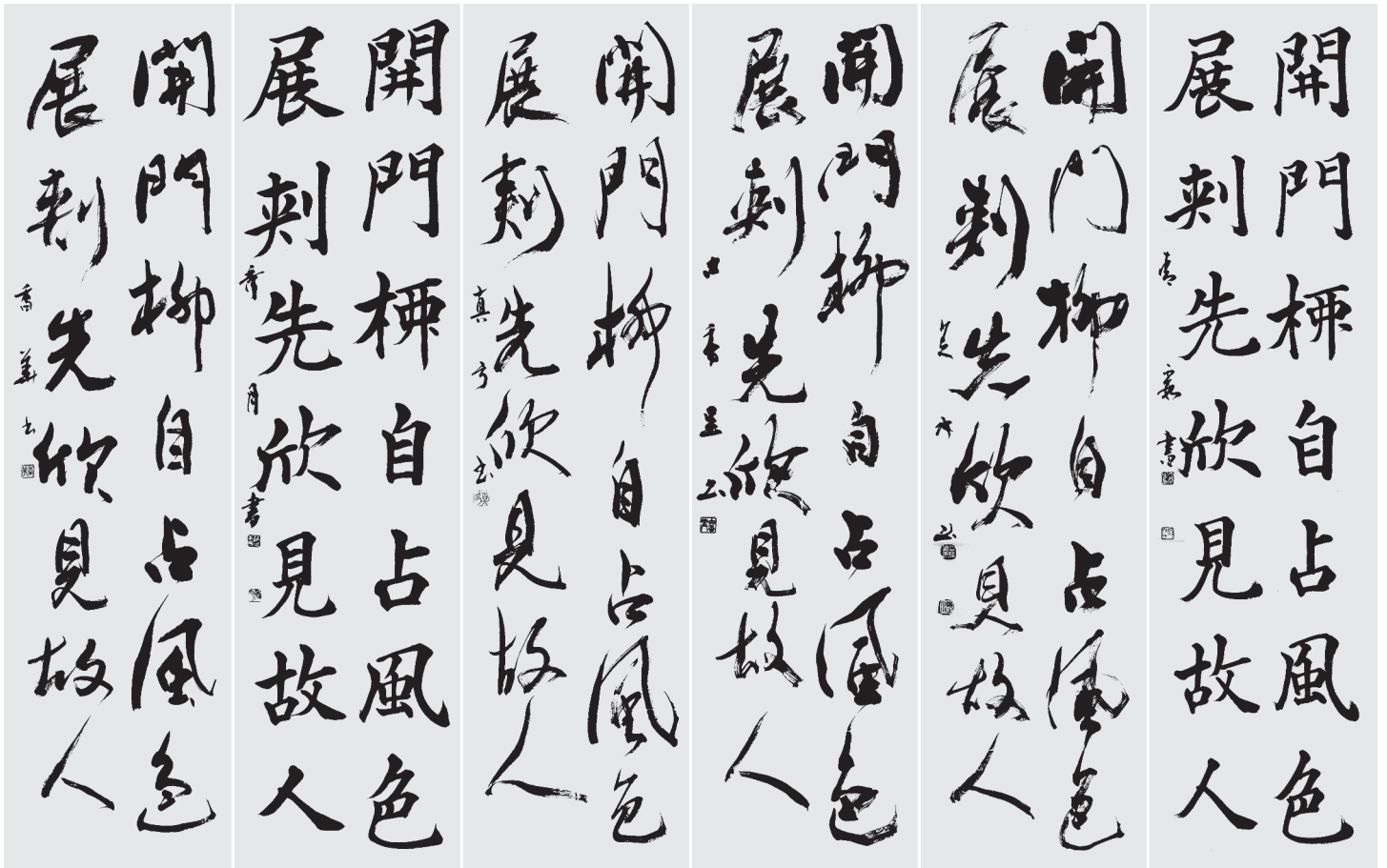




師範
三好香華

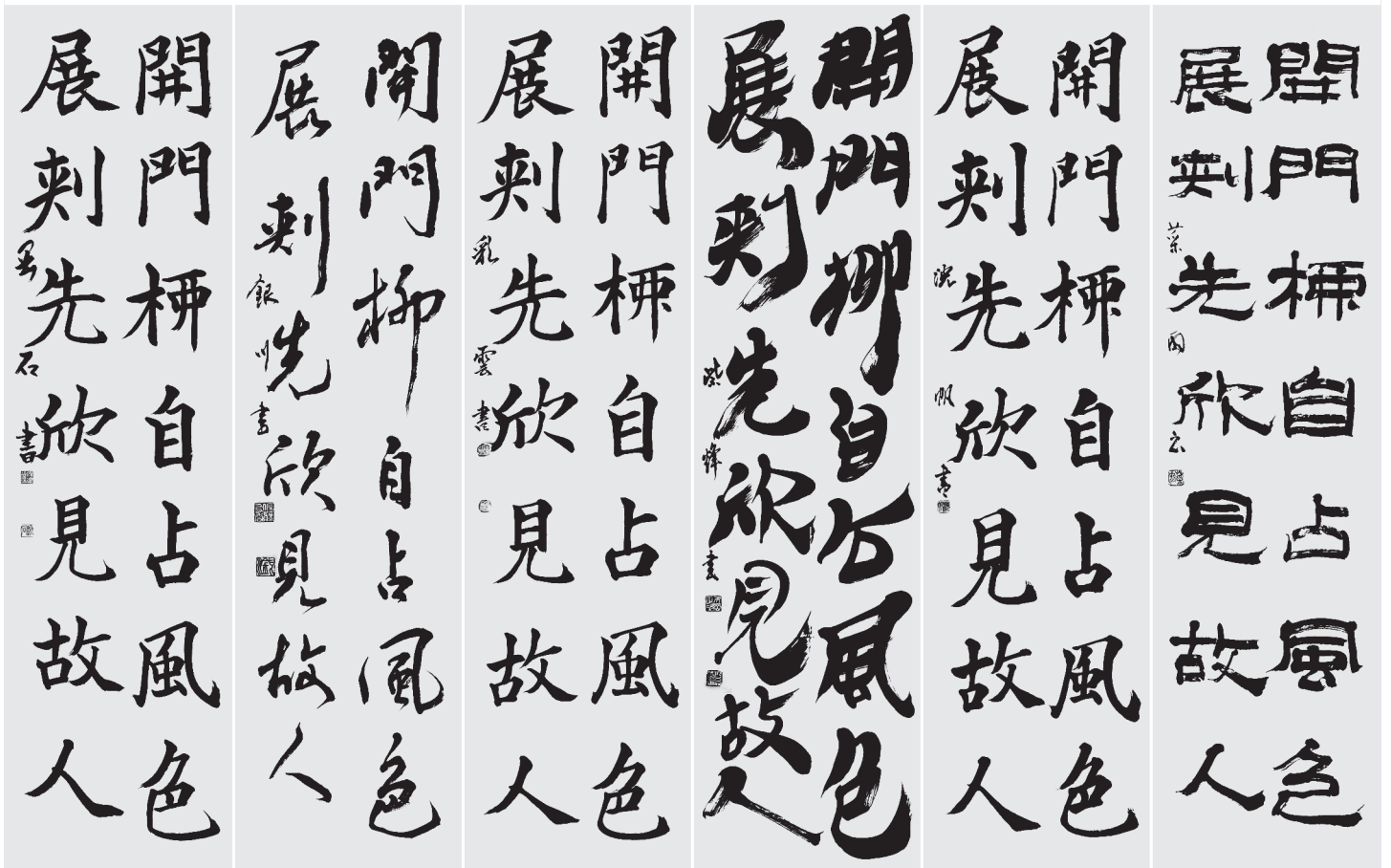
師範正
藤秀月

師範正
藤塚眞弓

師範正
岡由香里

成家
石橋芝水

成家
立谷青霞



準4級
大深剛石

六段
佐藤銀川

準師範
諸山彩雲

準六段
力岡紫烽

師範
龍洸帆

師範
久保菜雨

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

蜀郡靈槀轉豐城寶氣新將軍詩北塞天子出西秦未作三台輔之為已老臣今霄穎川曲淮織聚賢人

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

反金冊斯誤玉弩載驚孔教已焚秦宗亦

師範正
甲斐房子

師範正
上津原踏月

師範正
伊東三陽

師範正
岩井紫翠

師範正
福田喜久恵

成家
木下美鳳

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

窮神至靈知化其孰能與於此乎自時厥

準師範
松山紫苑

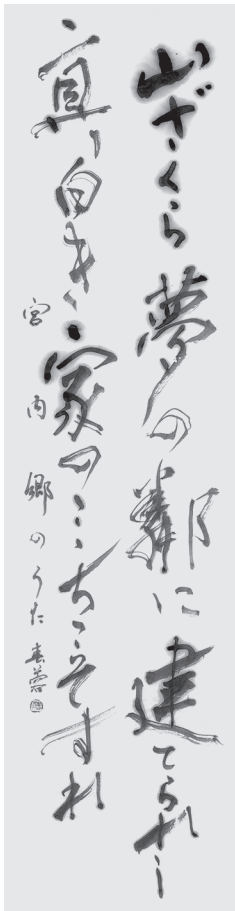
準師範
松下真子

師範
田中葵

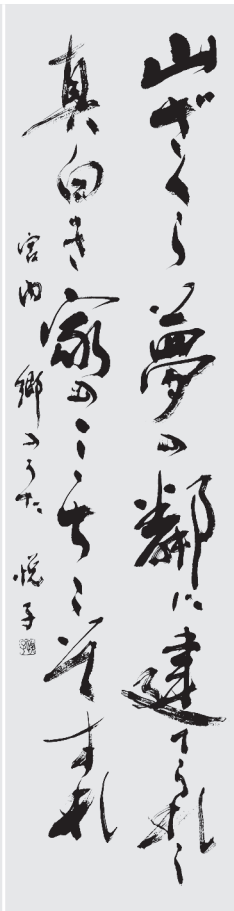
師範
檜橋篤子

師範正
工藤陽翠

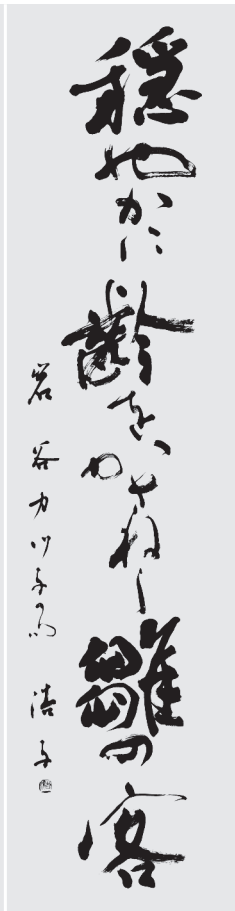
師範正
榎藤陽子



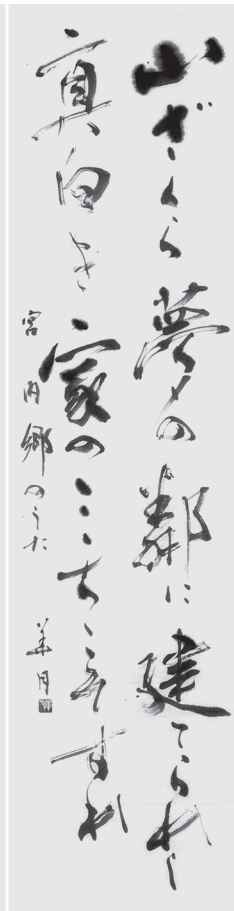
師範正
平田 春 蓉



師範正
松山 悦 子



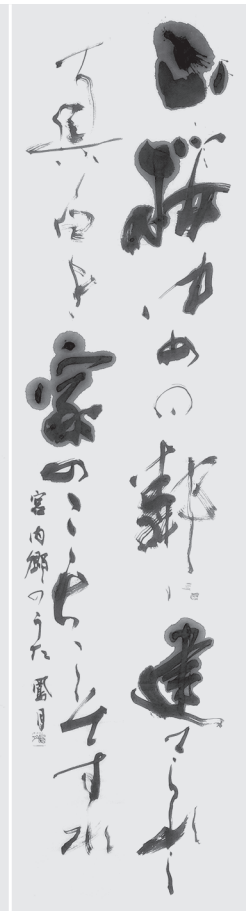
成 家
阪 井 浩 子



成 家
松原 華 月



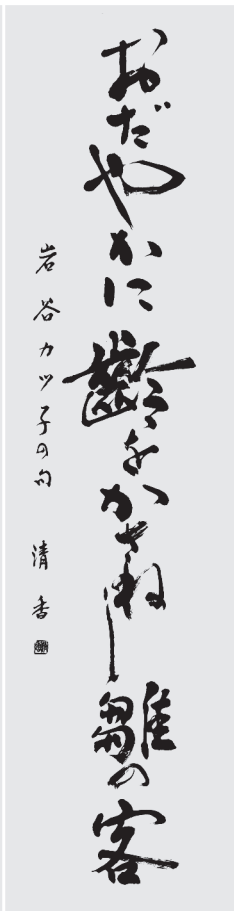
成 家
下 川 沙 舟



成 家
深 町 鳳 月



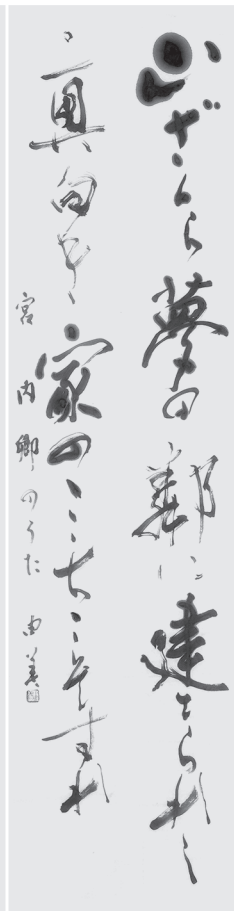
準 4 級
阿 南 真由美



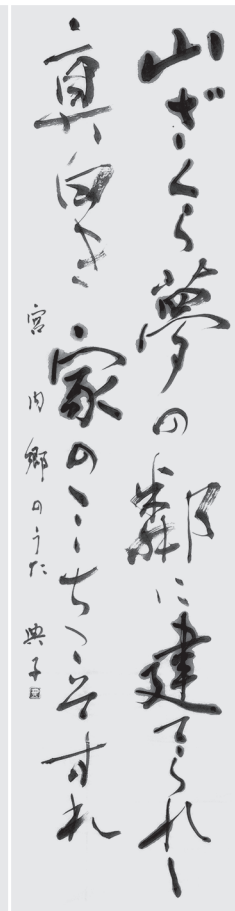
準六段
大 坪 清 香



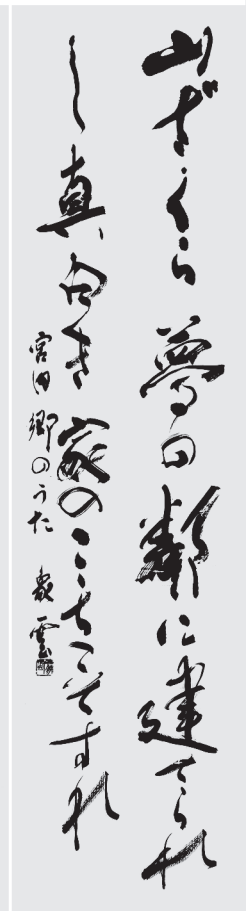
準六段
川 野 藍 秀



師 範
福 沢 由美子



師 範
服 部 典 子



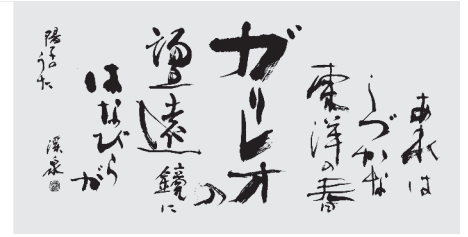
師 範
久 保 象 雲



師範森 小 筑



師範正 佐 田 馨 春



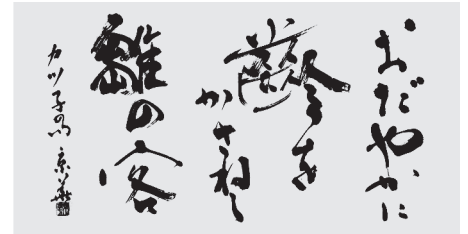
師範正 藤 永 溪 泉



準四段 石 川 大 雅



六 段 金 子 志 津 子



師 範 松 山 京 華



小4.六段
吉 村 奏 風



小3.2級
岡 本 みなみ



小3.準四段
野 津 美香子



小2.2級
山 根 由衣花



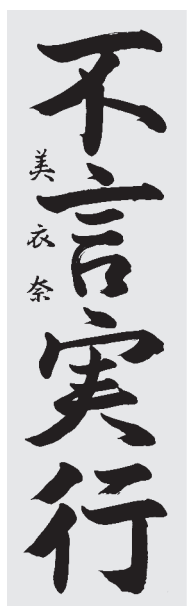
小2.準2級
岡 奏 太



小1.準3級
さかいこはる



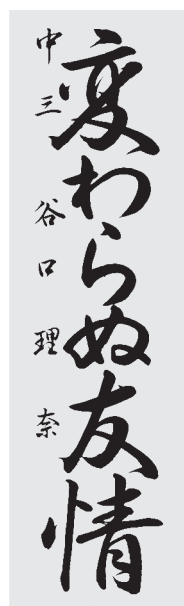
小1.準4級
の だ ゆうか



中1.特待生
山 本 美衣奈



中3.特待生
井 脇 遙 風



中3.特待生
谷 口 理 奈



小6.六段
蔵 田 侑



小5.五段
梶 原 千 聖



小5.五段
谷 美 智

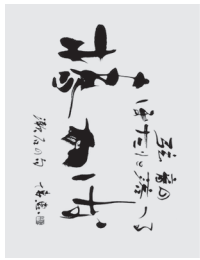


小4.準五段
藤 本 彩 花

半紙規定優秀作品 (3月末日締切分)

師範正 坂田晴巳	師範正 竹本松華	師範正 小川玉燁	成家 安仲夕蟬	成家 阪井浩子	成家 川上和子	成家 淵華惠
師範 徳永直恵	師範 三原典子	師範 谷山照軒	師範 長野登志子	師範正 池田白梨	師範正 岡紅華	師範正 宮本虹鶴
六段 佐藤銀川	準師範 大友清雪	準師範 松下真子	師範 伊良子真紀	師範 久保菜雨	師範 由留部裕美子	師範 山田登之
四段 高森美奈子	準五段 廣瀬純子	準五段 川村美華	五段 荻原白龍	準六段 片岡智信	準六段 森松美翠	六段 田中久美
準初段 河野風紗	初段 沖明子	二段 平澤幸子	準三段 福谷朝美	準三段 山根英秀	三段 福山明華	準四段 多賀明日香
準8級 御手洗彩香	8級 立石純子	準6級 森貴子	準5級 川村悦子	5級 増田留美	準4級 伊東義弘	準1級 坂本文子

半紙随意優秀作品 (3月末日締切分)



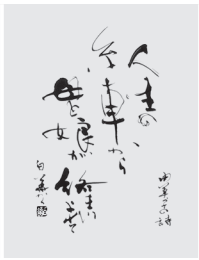
師範正
久保博恵



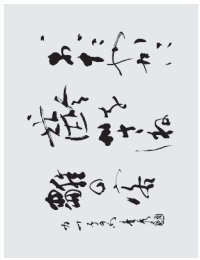
師範正
藤秀月



師範正
川久保由香里



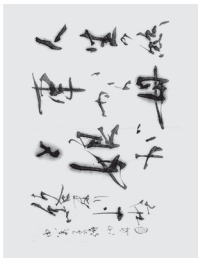
師範正
田尻白華



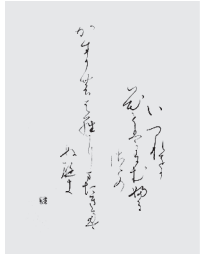
成家
細田青秀



成家
松原華月



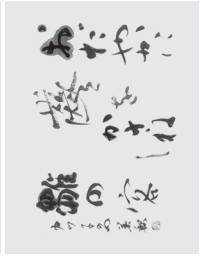
成家
下川沙舟



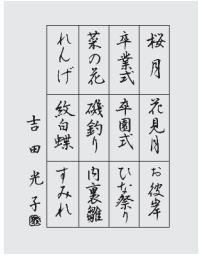
師範
曾根順子



師範
檜橋篤子



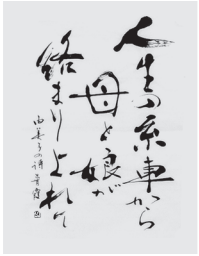
師範
松永美詔



師範
吉田光子



師範
尾崎和葉



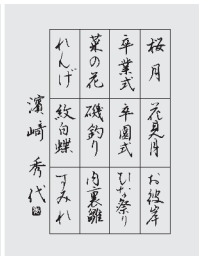
師範正
古村青霞



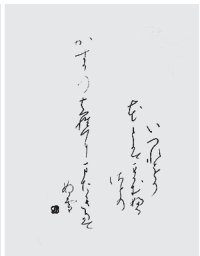
師範正
村石節子



準五段
檜原鳳苑



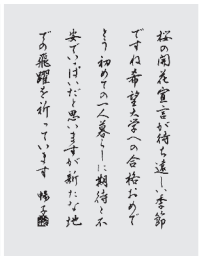
五段
濱崎秀代



準六段
落合梢薫



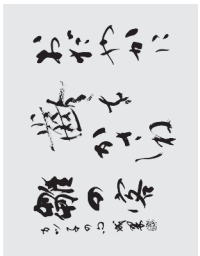
六段
久藤蓮生



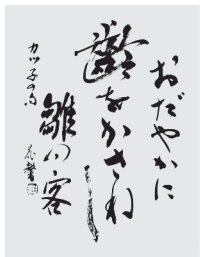
六段
原口暢子



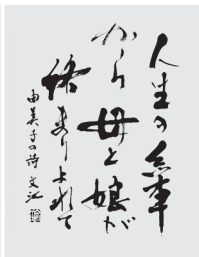
準師範
内山雲岫



準師範
竹清成翠



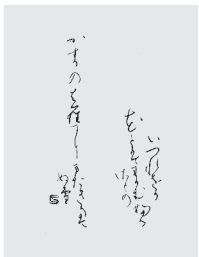
準三段
松尾花馨



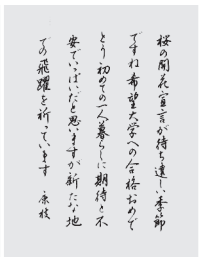
準三段
三島文江



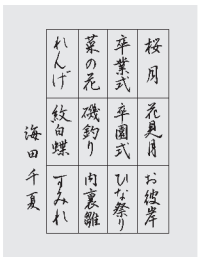
三段
菊竹翠香



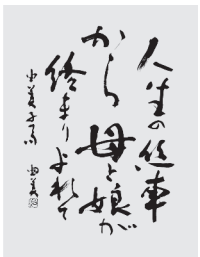
三段
十時裕子



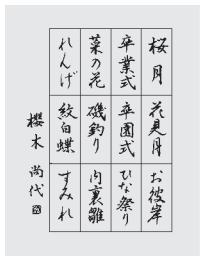
準四段
海江田康枝



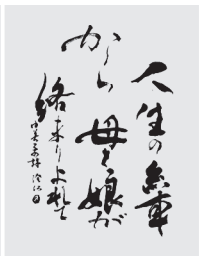
準四段
海田千夏



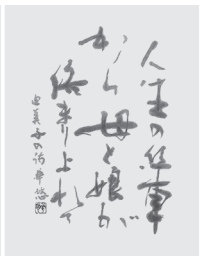
四段
千家由美



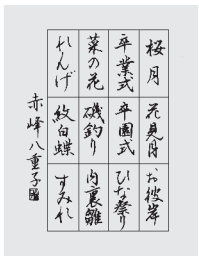
準2級
櫻木尚代



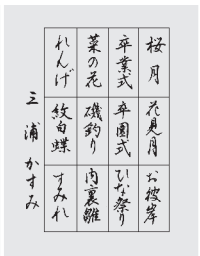
2級
吉浦澄江



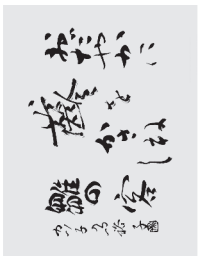
1級
小林華悠



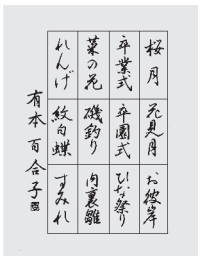
準四段
赤峰八重子



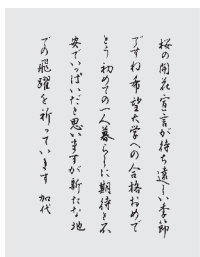
初段
三浦かすみ



準二段
伊藤裕子



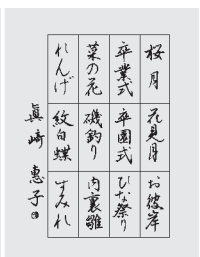
二段
有本百合子



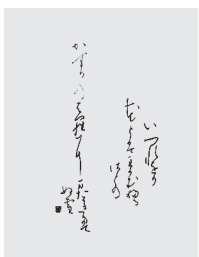
準7級
坂田加代子



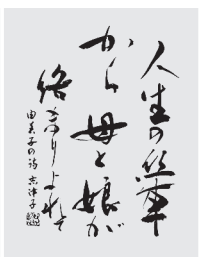
7級
小嶋夕子



準5級
眞崎恵子



5級
山崎ハルエ



準4級
大村志津子



4級
谷本佳乃



準3級
野相静香

半紙随意(臨書)優秀作品 (3月末日締切分)



師範正
鳥飼真理

師範正
福田喜久恵

師範正
中野清泉

成家
茶園光暉

成家
深町鳳月

成家
立谷青霞

成家
大島溪月



師範
岩谷翠岱

師範
豊嶋祥波

師範
古瀬白梢

師範
藤永琇雲

師範正
堤璃江

師範正
岡由香里

師範正
榎澤美奈



五段
和田青陽

準六段
藤岡昌子

六段
住田紫苑

六段
樋口祥子

六段
永野扶美恵

準師範
坂口悦子

準師範
池田静玉



準三段
佐々木隆道

準三段
北崎友喜

三段
前田由香子

準四段
徳安彰子

準五段
山崎灌月

準五段
鈴木華鈴

五段
眞鍋妙子



準2級
大野眞知子

準1級
南元文

1級
宮澤美成

1級
木上智子

準初段
峰松千代子

準二段
水呉文華

準三段
竹野純一



7級
山下有香

準4級
伊東京子

4級
的山志煌

4級
岡田敏子

準3級
相良百乃

準3級
川上千枝子

3級
道下凜花

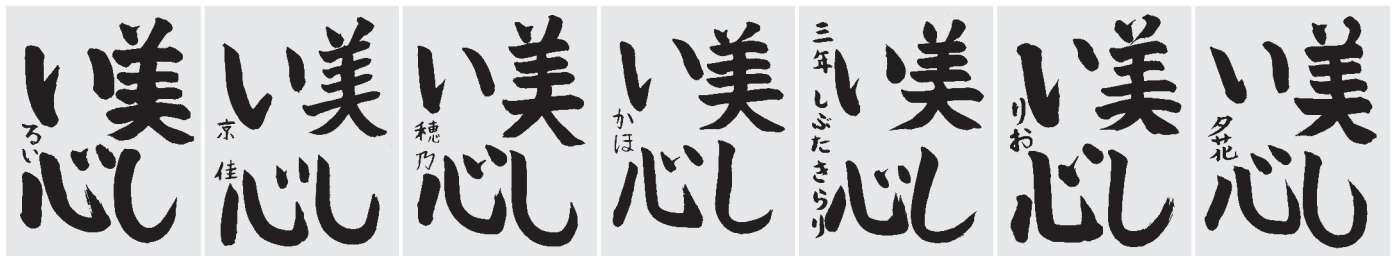
半紙優秀作品 (3月末日締切分)



準5級 小森 あやね 5級 木村 美結 準8級 大淵 萌結 8級 増田 ゆうか 7級 みなみまいか 準6級 友松 りかこ 5級 さか元 ふみ



初段 岡 陸斗 準7級 辻 りのか 7級 北村 そよ薫 7級 すみさくら 準6級 上村 桜奈 準6級 吉田 ゆうの 6級 吉次 麟太郎



6級 矢加部 瑠衣 準5級 土井 京佳 準3級 永翁 穂乃 3級 黒岩 佳歩 2級 澁田 眺里 準1級 八坂 りお 1級 大熊 夕花



二段 世良 果恋 準三段 栗原 煌央 準四段 本田 彩菜 準五段 富安 かれん 六段 岸川 麻央 8級 竹田 妃那 準7級 大渡 彩恵



準4級 堀部 理歩 4級 中垣 玖羽 準2級 原田 希 準1級 石橋 希愛 準初段 小林 一葵 初段 黒岩 り子 準二段 熊原 琴音



準三段 上水 凜佳 三段 城戸 翔 四段 坂東 りさ子 準五段 今村 優心 準六段 田崎 美羽 六段 葭田 早紀 5級 澁田 知成

毛筆・硬筆優秀作品 (3月末日締切分)



特待生
岡崎 琳音

2 級
堀 瑠奈

準1級
山隅 琴莉

準初段
桑本 彩夏

初 段
加川 莉緒

準二段
高口 夢叶

二 段
原口 滯



準初段
中村 美穂里

三 段
榎 可南

準四段
佐々木 日香

五 段
中島 菜奈

五 段
西津里 桜菜

準六段
鶴崎 菜奈

準特待生
上野 心愛



準五段
白石 景子

五 段
藤井 沙羅

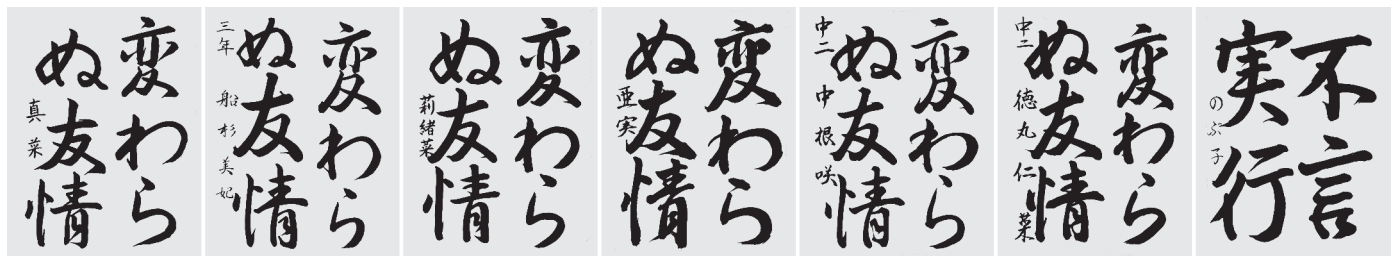
準六段
田崎 佳凜

六 段
岸田 優里

準特待生
米澤 桜雅

準3級
緒方 輔久

1 級
古賀 穂希香



準三段
久保田 真菜

三 段
船杉 美妃

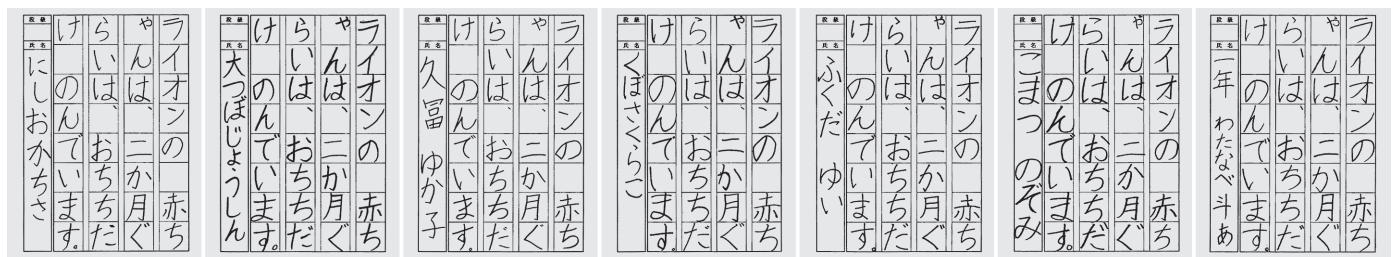
四 段
肥塚 莉緒菜

準五段
田代 亜実

準特待生
中根 咲

特待生
徳丸 仁菜

三 段
三浦 薫子



準6級
西岡 ちさ

6 級
大つばじょうしん

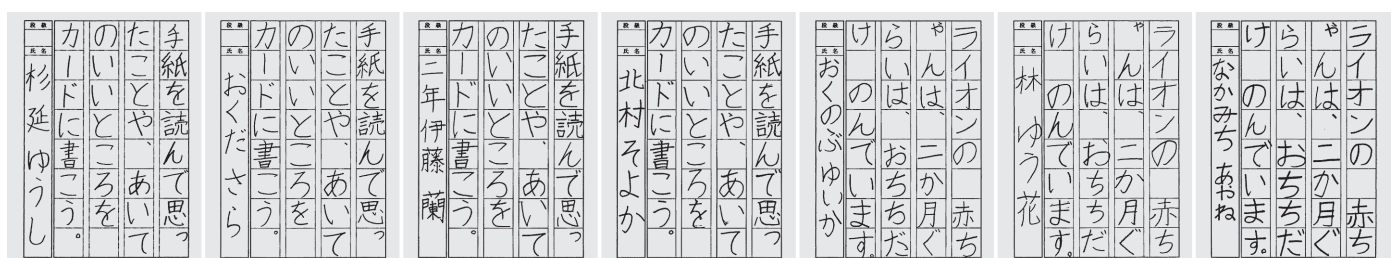
準5級
久富 ゆか子

準5級
久保 桜子

5 級
福田 ゆい

準4級
小松 希

4 級
渡辺 斗愛



準4級
杉延 ゆうし

3 級
奥田 紗良

3 級
伊藤 蘭

準2級
北村 そよ薫

準8級
奥信 ゆいか

準7級
林 優花

準7級
仲道 あやね

硬筆優秀作品（3月末日締切分）

手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** ふじ本みお 三段 小若女 楽夏	手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** 吉井ひなた 準7級 吉井ひなた	手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** 辻りのか 7級 辻りのか	手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** 常松らん 準6級 常松らん	手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** 藤本みお 準6級 藤本みお	手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** 田坂柚佳 6級 田坂柚佳	手紙を読んで思っ たことや、あいて のいいところを カードに書こう。 *** 澤野心遙 5級 澤野心遙
外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 大渡彩恵 6級 大渡彩恵	外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 道脇のぞみ 4級 道脇のぞみ	外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 石川友陽 3級 石川友陽	外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 嶋村美友 準2級 嶋村美友	外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 山口紗英 2級 山口紗英	外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 大坪健翔 準1級 大坪健翔	外はすい星で月も出 ていた。つげの下りの 坂道は一面の真っ白い しもで雪みだいたった。 *** 吉泉光琉 準初段 吉泉光琉
バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 石井佑汰 初段 石井佑汰	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 瓜生梨乃亜 二段 瓜生梨乃亜	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 野見山詠音 準三段 野見山詠音	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 本田風花 三段 本田風花	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 白幡朱莉 準四段 白幡朱莉	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 吉住和花 準7級 吉住和花	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 浦倫太郎 7級 浦倫太郎
バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 村石怜奏 6級 村石怜奏	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 石橋希愛 4級 石橋希愛	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 中原琥太郎 準3級 中原琥太郎	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 堀部理歩 準2級 堀部理歩	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 渡辺優加 1級 渡辺優加	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 高木陽依 準初段 高木陽依	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 吉村輪香 初段 吉村輪香
雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 藤村心遙 三段 藤村心遙	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 甲田空羽 準四段 甲田空羽	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 木村菜波 準五段 木村菜波	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 辻美沙樹 五段 辻美沙樹	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 辻本千夏 準六段 辻本千夏	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 柴田琴羽 8級 柴田琴羽	バスのでいりゅう所の辺 りまで来たとき、こな雪が ふり始めましたが石けり の輪は終わります。 *** 妹川杏実 準6級 妹川杏実
雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 倉津結衣 準4級 倉津結衣	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 高口夢叶 準3級 高口夢叶	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 鶴岡紗羽 準2級 鶴岡紗羽	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 山崎葉月 2級 山崎葉月	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 桑本結菜 1級 桑本結菜	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 松尾咲希 準二段 松尾咲希	雪はふとんのように寒さか ら野うさぎの子を守りました。 毛づくろいも独りで覚えまし た。耳を顔の前にひばり、前 足で、いねいになつてつけます。 *** 梅野葵 準三段 梅野葵

硬筆優秀作品（3月末日締切分）

ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 三 段 松下 晃 惺	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 準四段 沖 紗由美	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 四 段 青田 夏 緒	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 準五段 大 森 平 智	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 五 段 岩 川 歩 愛	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 準六段 田 代 彩 夏	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 準特待生 中 川 夢 理
免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準五段 時 田 穂乃歌	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準六段 佐々木 優 羽	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準六段 寶藏寺 倫 果	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 六 段 石 井 佑 奈	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準特待生 木 村 瑛 菜	ある夜物音が目が覚めてはっ とした月明かりの中に大きな おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 初 段 遠 嶋 悠 星	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 二 段 佐 田 夏 帆
免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準初段 平 田 心 愛	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準二段 大 野 紗 良	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準三段 福 谷 夏 菜	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 三 段 篠 原 美 月	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 準四段 倉 地 花 音	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 四 段 山 崎 栞 奈	免除されるというところは誰か他の 人にあるは社会のある仕組みに それと格闘をお任せするとい うことであってそのことが人を受け 身で無力な存在にしています 四 段 谷 川 柚 乃
以前素敵に宿屋を襲ったがラス 作敵を討つに決めたが、ひたひたの 山に、山猿と色鮮やかな花が咲く おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 六 段 江 上 由紀子	以前素敵に宿屋を襲ったがラス 作敵を討つに決めたが、ひたひたの 山に、山猿と色鮮やかな花が咲く おじが立っていたのだ川面に 顔を近づけて水を飲んでるま るでばくなんかいなみたいた だ 六 段 畑 あずさ	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準師範 徳 永 仁 美	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準師範 鹿 嶋 ひかり	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 師 範 梅 谷 節 子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 師 範 山 田 和 子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 師範正 松 原 華 月
日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準三段 坂 東 藍 子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 三 段 奥 村 直 美	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準四段 安 部 彩 夏	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 四 段 松 下 真 子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準五段 小 林 智 子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 五 段 平 田 理 恵	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準六段 和 田 さゆり
日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 6 級 熊埜御堂多栄子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準5級 福 谷 朝 美	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準3級 久 保 博 恵	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準1級 菅 原 捺 美	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準初段 松 山 京 子	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 初 段 吉 永 洲 香	日本は神々や鎮守の森墓参りや盆 供養にぎやかな多神教の世界で ある日本人は魂の救済を求める孤 独な魂ではなく七福神の掛け軸や神社 の御札を喜ぶ万葉びとである 準三段 平 川 祐 貴 子